

霧ヶ峰ロゲイニング 2018 プログラム

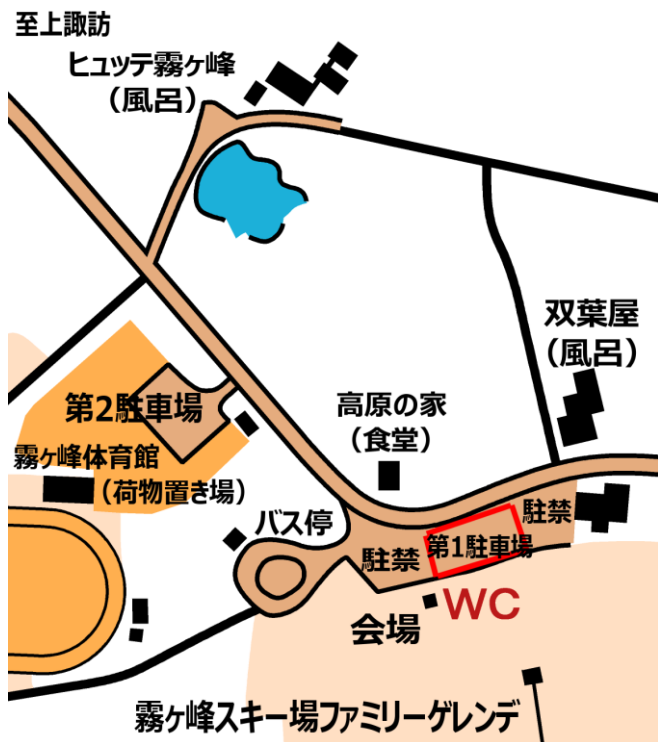


「君の名は」の世界がそこに

霧ヶ峰高原全体に30個のコントロール（目標場所）を設置します。それぞれのコントロールを通過すると得点が与えられます。制限時間内にどれだけ得点を得ることができるかを競います。コントロールを示す地図を競技前に配布します。地図を見ながら、作戦を考え、自分の力で巡ってください。初夏の爽やかな霧ヶ峰高原を楽しみましょう。競技中の移動手段は自分の足のみに限られます。

開催日：2018年7月1日(日)

会場：霧ヶ峰スキー場ファミリーゲレンデ
長野県諏訪市強清水（標高1640m）



- 6:30 ロゲイニング受付開始
- 8:30 開会式・競技説明
- 8:45 E-card起動・地図配布
- 9:00 スタート(全クラス一斉)
- 12:00 フィニッシュ時刻(ソロの部)
- 12:15 表彰式(ソロの部)
- 13:00 フィニッシュ時刻(チームの部)
- 13:15 表彰式(チームの部)

ごあいさつ

多くの参加者に支えられ、霧ヶ峰ロゲイニング大会も今年で10年、11回目となりました。霧ヶ峰高原には貴重な自然があり、それを守っている人たち、環境を整備している人たちがいます。参加者の皆様には、こうした貴重な自然と地元資産の中で競技させていただいているという認識を持っていただき、自然に優しい競技参加をお願いします。今まで10年の間霧ヶ峰ロゲイニングを開催し続けることができたのも、参加者皆様のマナーの良さが生み出した奇跡だと思います。まずは皆様の安全と健康を第一優先に行動し、その上で霧ヶ峰高原の素晴らしい景色と草原をご堪能ください。

アクセス

自家用車

中央自動車道「諏訪インター」から車で30分。
駐車場：会場広場に隣接して第1駐車場、および会場から200mの場所に第2駐車場があります。(無料)
前日から霧ヶ峰高原地区に宿泊されている方はなるべく宿舎に車を置いて徒歩で来場ください。

公共交通機関

JR 中央線「上諏訪駅」諏訪湖口より霧ヶ峰方面行きバスに乗って46分。
バス停「強清水(こわしみず)」下車すぐ。(¥940)

上諏訪駅諏訪湖口 09:50 → 強清水 10:26
上諏訪駅諏訪湖口 10:30 → 強清水 11:06 (土日祝日)
上諏訪駅諏訪湖口 12:50 → 強清水 13:26
上諏訪駅諏訪湖口 14:00 → 強清水 14:36
上諏訪駅諏訪湖口 16:45 → 強清水 17:21

強清水 10:58 → 上諏訪駅霧ヶ峰口 11:30
強清水 13:48 → 上諏訪駅霧ヶ峰口 14:20
強清水 14:58 → 上諏訪駅霧ヶ峰口 15:30
強清水 16:41 → 上諏訪駅霧ヶ峰口 17:13
強清水 17:35 → 上諏訪駅霧ヶ峰口 18:07

重要事項

- この競技は一般の交通ルールや社会マナー、登山マナーを守った上に得点ルールを重ねたものです。マナーを守り、安全に競技してください。
- 競技を行うフィールドは標高1600mを超える草原が多くあります。落雷発生確率が高い場所です。雷が近づいたときは競技を中断し、自分の命を守る行動をとってください。雨や風の影響で夏でも体が冷えることがあります。天気が崩れそうなときは雨具、防寒装備をもって競技してください。
- ソロ参加では決して無理をしないでください。体に異変があればすぐに本部まで電話してください。
- 競技が安全に行うことができないと判断した場合、主催者は競技を中止します。市街地や里山で行うロゲイニング大会より中止になる確率が格段に高いことを認識してください。

競技の流れ

6:30-8:30 受付

- 提出物 携帯電話番号申告用紙
- 配布物 ナンバーカード（人数分）
ポリ袋（人数分）
E-card（チームに1個）
お風呂券（ひとり1枚）

携帯電話番号申告書と引き換えに配布物をお渡しします。ナンバーカードを衣類へ留める安全ピンは各自でご用意ください。本部に安全ピンを若干数を用意しておきます。

会場案内

- 青空会場となります。建物・更衣室はありません。
- 会場から300m離れた霧ヶ峰体育館を荷物置場として開放します。荷物紛失について主催者は責任をとりません。

公式掲示板

プログラムの発行以降に発生したお知らせは、会場にある公式掲示板に掲載します。参加者のかたは競技参加前に必ず公式掲示板の掲示内容を確認してください。

8:30 開会式・競技説明

- 昨年の優勝カップの返却とレプリカの授与を行います。
- 簡単な開会式と競技説明を行います。
プログラムを読んできていただいていることを前提に、変更点と注意点のみの説明とします。

8:45 E-card 起動・地図配布

- スタート15分前までにスタート地区に集合してください。スタート地区として周囲をテープで囲まれた範囲に入ってください。
- スタート地区に入る時に以下の確認を行います。
 - ナンバーカードのチェック
 - E-cardのチェック
 - E-cardの起動（アクティベート）
- スタートエリアに入る際にE-cardを起動してください。E-cardの起動は参加者が責任をもって行ってください。E-cardの起動ができなかった場合は記録が残りません。
- スタートエリアに入ったチームに対して、8:45から地図を配布します。（1人1枚）
- スタート直前には参加者が集中します。早めの集合をお願いします。

9:00 スタート

- 全クラス9:00に一斉スタートします。
- スタート後はフィニッシュするまで競技中となります。競技時間中、一旦会場に戻って休憩されても構いません。競技を中断し、無連絡で帰宅しないようお願いします。このときは未帰還チームとして扱われ、検索の対象となります。
- チーム構成員はスタートからフィニッシュするまで一緒に行動しなくてはなりません。目安としてチーム全員が30m以上離れないよう行動してください。チームが分離して行動することはチーム戦の趣旨に反しますので謹んでください。競技終了後、主催者はチームが戻ってきたかどうかの確認だけを行います。チーム内メンバー全員の帰還確認はチーム内部で確認をしてください。

給水・給食

- 競技中の給水・給食は参加者にて準備願います。

- 競技中の飲食物の購入は自由です。テレイン（競技地域）内を観光道路「ビーナスライン」が通っています。この「ビーナスライン」に沿ってドライブインが何軒かあります。自動販売機の位置とトイレの位置を地図上に表記します。

- 12:00 フィニッシュ（ソロの部）

- ソロの部のフィニッシュは11:30-12:15の間に行ってください。それ以外の時刻にフィニッシュしたいかたは役員まで申し出てください。
- 会場にあるフィニッシュコントロールにE-cardをはめ込んだ瞬間をフィニッシュタイムとします。

- 13:00 フィニッシュ（チームの部）

- チームの部のフィニッシュは12:30-13:15の間に行ってください。それ以外の時刻にフィニッシュしたいかたは役員まで申し出てください。
- チームは必ず全員揃ってフィニッシュしてください。

フィニッシュ（ソロ・チームとも）

- フィニッシュ時に、必ず会場にあるフィニッシュコントロールにE-cardパンチしてください。霧ヶ峰ロゲイニングではこれを必須のルールとします。チームメンバーでしっかり確認しあってください。

- 会場にあるフィニッシュコントロールにE-cardをはめ込んだ瞬間をフィニッシュタイムとします。
- フィニッシュコントロールをパンチせず、先にカード読み取りを行ったチームは失格とさせていただきます。（フィニッシュコントロールを通らないE-cardは正常に結果が読み取れません）
- 制限時刻直前は多くの参加者で混雑します。時間にゆとりをもってフィニッシュしてください。制限時刻3分前からフィニッシュでの写真撮影は禁止します。混雑するからです。
- フィニッシュ後にE-cardからデータの読み取りを行います。E-cardはここで回収します。
- フィニッシュは制限時間の15分後には閉鎖します。どんなに遅刻してもこの時間までには必ず戻ってきてください。

12:15 表彰式（ソロ）

- 各クラス上位3組を表彰します。
（女子ソロ、男子ソロ、家族、混合、女子、男子）
- 仮賞状及び賞品をお渡しします。

13:15 表彰式（チーム）

- 各クラス上位3組を表彰します。
（家族、混合、女子、男子）
- 仮賞状及び賞品をお渡しします。

フィニッシュ後

フィニッシュ後にはトン汁のサービスがあります。ナンバーカードを見せてトン汁を受け取ってください。フィニッシュ後にはヒュッテ霧ヶ峰または双葉荘の温泉に入浴できます。受付で渡された入浴券を温泉宿の受付に提出してからご利用ください。入浴宿は券に指定してあります。グループ内が分かれた温泉宿に指定されてしまった場合は表彰式後に本部に申告してください。調整します。フィニッシュ後の温泉は大混雑が予想されます。なるべく時間をずらして利用ください。

競技の説明

競技の概要

- ・フィールド内に 30 個のコントロール（目標場所）を設定します。それぞれのコントロールを通過すると得点が与えられます。ソロのクラスは 3 時間、チームクラスは 4 時間の制限時間内にどれだけ得点を得ることができるかを競います。
- ・コントロールを示す地図を競技前に配布します。地図を見ながら、作戦を考え、自分たちの力で巡ってください。
- ・この競技は一般の交通ルールや社会マナーを守った上で得点ルールを重ねたものです。交通ルールを守り、安全に競技してください。
- ・チームはスタートしてからフィニッシュするまで必ず一緒に行動してください。原則としてすべてのメンバー間の距離が 30m 以内になるよう行動してください。（肉声が届く範囲を目安としています）

コース

コントロール数は 30 箇所。コントロール番号がそのままコントロール得点になります。

最低得点コントロール：31 点 / 最高得点コントロール：151 点
すべてのコントロールの得点総合計：2000 点。
制限時間に間に合わなかった場合は、超過時間 1 秒から 60 秒まで 100 点の減点となります。その後 1 分超過すごとに 100 点ずつ減点されます。

通過証明方式

EMIT 社の電子パンチ方式を採用。
（参加者は E-card を使用）

競技中の移動手段

- ・移動手段は歩行または走行とします。
- ・一切の乗り物は使用禁止です。

給水・給食

- ・給水所は特に用意しません。給水・給食は参加者にて準備願います。
- ・競技中の飲食物の購入は自由です。トレイン（競技地域）には観光道路ビーナスラインがあり、ところどころに売店などがあります。ただし数は少ないです。すべて営業しているとは限りません。必要な水と食料はスタートから各自持参してください。

禁止事項

- 下記禁止事項に逸脱した場合、チーム全体を失格とします。
- ・競技を中断し、無連絡で帰宅することは禁止。（安全上の問題）
 - ・競技時間を 15 分以上超えることは禁止。（安全上の問題）
 - ・携帯電話などの連絡手段を持たず、出走することは禁止。（安全上の問題）
 - ・人道トンネルを走って通過することは禁止。（安全上の問題）（歩いて通行してください。トンネル頭上にボルトが出ています。注意してください。）
 - ・霧ヶ峰を散策中のハイカーを脅かすような追い越しやすれ違いを行うことは禁止（登山道でのマナー）
 - ・競技中にゴミを捨てることは禁止。（山林でのマナー）
 - ・ペットなど動物を連れて競技することは禁止。（霧ヶ峰でのマナー）
 - ・防獣柵（鹿柵）のゲートを開けたまま閉めないことは禁止。（里山のマナー）
 - ・草原/湿原に立ち入ることは禁止。（草原/湿原の保護）

（法に基づいた保護区域があります）

- ・地図上に立入禁止が表示されている道の利用は禁止。
- ・木道があるトレイルで、木道を外れて走る、歩くことは禁止。（湿原の保護）
- ・草原や林を、道を使わずに直進して通過することは禁止（ただし 10m 程度の道の乗り換えは除く）
- ・木道上を走ることは禁止。（木道上は歩行のみ）（木道の保護・他の利用者の保護）
（地図上には木道が特殊記号で表記してあります）
- ・金属ピン付シューズの利用は禁止。（木道の保護）
- ・走行禁止表記されている小道を走行することは禁止。（歩行指定遊歩道）
- ・徒歩以外の移動手段を使用することは禁止。（霧ヶ峰ロゲイニングの競技ルール）
- ・グループ以外の者の補助を得ることは禁止。（救急時を除く）（霧ヶ峰ロゲイニングの競技ルール）
- ・チームメンバーが別れて行動することは禁止（救急時を除く）
- ・マイ E-card 利用の禁止。（主催者が支給する E-card を使用してください。）（運営の都合）
- ・フィニッシュコントロールで E-card をパンチせずにカード読み取り所でカードを読み取ることを禁止（運営の都合）
- ・フィニッシュ指定時刻以外の時刻に、申告なくフィニッシュすることは禁止。（運営の都合）

競技中に出たゴミの処理についての詳細

競技中に出たゴミを捨てるのが許されるのは以下の場合のみです。それ以外は所持してスタートしたものはすべて持ってフィニッシュするようにしてください。

- ・自分のチームのマイカーに立ち寄って不要物を車内に置く場合。
- ・自分が宿泊した宿や会場に立ち寄って、置いてきた自分の荷物の中に不要物を入れる場合。
- ・競技中に購入したものの容器を、購入した場所に引き渡す場合。

環境への配慮について

高山植物は踏みつけに弱いので保護が必要です。

特に標高の高い部分には立入禁止の立看板が多くあります。ただし以下の箇所については道以外の場所への立入が可能です。

- ・10メートル以内で近接する道の乗り換えで、立入禁止の看板や柵がない箇所。（競技範囲内では、このような箇所は数箇所に限られます）

湿原への侵入は禁止します。

木道があるトレイルでは必ず木道の上を通過してください。木道を外れて走る、歩くことは謹んでください。（霧ヶ峰一帯の湿原には貴重な野性植物が分布しています）

八島ヶ原湿原木道の通行を禁止します。

八島ヶ原湿原木道周辺にはコントロールを設定しません。この木道は多くの観光客が散策や自然観察を楽しまれています。八島湿原木道は競技終了前、競技終了後にゆっくりと歩いて散策してください。

木道上を走ることは禁止します。

木道上は歩行のみ可とします。地図上には木道が特殊記号で表記してあります。（地図例参照）
木道は地元観光資産です。多くの観光客やハイカーと木道を共同でお互い気持ちよく利用するために、木道

では走らずに歩いてください。木道による移動時間の
変化を考慮のうえ行動を決定してください。
木道上を走行した人がいるチームはチーム全体を失
格扱いとさせていただきます。

許可事項

- ・防獣柵（鹿柵）のゲートを開けて通過すること。ただし、
通過直後にゲートを閉めることが通過の条件です。
- ・ナビゲーション補助用具は使用できます。
（コンパス、GPS、高度計、距離計など）

競技中の注意事項(強調事項)

人道トンネル内の走行は禁止

競技域の中では人道トンネルは1箇所しか存在しません。
長さは10mです。(ビーナスラインの下を抜けるだけの長
さです。)しかし、このトンネル内は天井が低く、しかも天
上に突起物があります。これが頭に接触すると大変危険で
す。人道トンネル内は安全に、慎重に歩行して通過して
ください。

草原内・森林内ともに直進は禁止

霧ヶ峰ロゲイニング競技中は、すべて地図に書かれた道
を通過して競技してください。道でないところを直進しての競
技は禁止です。

霧ヶ峰ロゲイニングの競技フィールドには立入りが制限
された草原と、立入制限のない森林部が含まれます。霧ヶ
峰ロゲイニング競技は「地図に書かれた道以外は通行禁止」
をルールとして運用することによって、立入制限された場
所に踏み入ることがない仕組みになっています。

また、コース設定においても「地図に書かれた道以外は通
行禁止」を守ることを前提に、競技戦略的に最適なコース
を設定しています。

このため、立入制限が無さそうに思える森林部においても、
霧ヶ峰ロゲイニング競技中は「地図に書かれた道以外は通
行禁止」を徹底して守っていただくようお願いします。

鹿よけ柵について

小道を遮るように鹿よけ柵が設けられている箇所があり
ます。出入口の扉をあけて静かに通過してください。通過
後は必ず静かに閉めてください。決して強度的に強い柵で
はありません。丁寧に開閉してください。

鹿よけ電柵について

草原を囲むように鹿よけ電柵が多数設置されています。電
柵を乗り越えるコース設定にはなっていません。電柵を越
えられないようにしてください。また電柵に触らないでくだ
さい。感電します。

「観音沢」は立入禁止

観音沢と呼ばれる地域が地図に含まれます。この沢の深い
部分への立入を禁止します。この地域はコースには含まれ
ません。地図上でも進入禁止として表現されています。

(観音沢の底では携帯電話の電波が届きません)

装備

参加者に必ず準備いただく装備

携帯電話：

チームに1台。参加者で用意してください。緊急連絡用
です。電池切れを起こさないよう、十分な充電と余裕の
ある使用方法をお願いします。当日の受付時に携帯電話
番号申告書を提出していただきます。

安全ピン：

ナンバーカード取り付け用。

忘れたかた用に安全ピンを本部に若干数を用意します。

参加者に準備いただく装備

コンパス 参加者でご用意ください。

ファーストエイドキット、水、行動食、雨具、お金など

服装

- ・濡れたり汚れたりしてもよい服と靴でご参加ください。
- ・イバラ道を通るルートでも破れない服装。
- ・半裸での出走は禁止します。
- ・金属ピン付シューズの利用は禁止します。(木道の保護)

主催者が準備する装備

受付で渡すもの

携帯電話申告書と引き換えに、下記セットをチーム毎に
渡します。この引き換えが参加確認を兼ねています。他
のチームのセットはお渡ししません。

- ・E-card：各1個/チーム

競技者に貸与します。フィニッシュ後に回収します。
紛失しないよう、取り扱いに気を付けてください。紛
失した場合は弁償していただきます。1個6,000円。
競技中は必ず携帯してください。

- ・ナンバーカード：各1枚/人

競技中は必ず、体・またはザックの見える場所につ
けてください。

- ・チャック付きポリ袋：各1枚/人

地図やコントロール位置説明の防水に利用ください。

スタート15分前に支給するもの

- ・地図1枚/人

返却は不要です。

E-cardについて

本ロゲイニング競技ではEmit社のE-cardを通過証明に
使用します。

E-cardをコントロールにあるユニットに勘合すること
で、E-card内部に電子記録が保存されます。フィニッシ
ュ後、このE-card内部の電子記録を読み出すことで記録
の集計を行います。

使い方は公共交通機関で使用されている電子カードに近
いです。(タッチアンドゴー方式)(Suica、Pasma、Icocca
など)ただ、通過時に音によるフィードバック(反応)
はありません。最初は不安に思いますが、大丈夫です。き
ちんとカードをユニットに勘合すれば、まず正確に記録が
残ります。万が一電子記録が残らなかったときの保険とし
て、電子記録と同時にバックアップラベル(紙ラベル)に
通過記録を示す穴が残るしくみになっています。

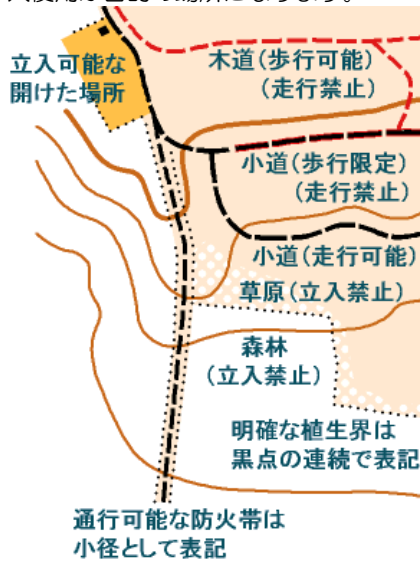
競技者の中にはこれらのシステムを何度も利用してい
るかたがいます。参加者同士で質問し教えあってください。

地図の説明

サイズ B4 / 縮尺 1:20,000 / 等高線間隔 10m
地図記号はオリエンテーリング用地図作成基準に準じる。
特殊地図記号として以下のものを使用する。
赤の破線：走行禁止の小道（歩行のみ可・ 走行不可）
（木道や走行禁止の遊歩道が該当）

- 「WC」：公衆トイレ
- コップマーク：自動飲料販売機設置 場所
- （黒）：パーマネントコースのコントロール
- （赤）：ベンチ
- に・（黒）：記念碑、石仏など
- ×（黒）：小さな神社
- *（赤）：道標
- ×××（パープル）：通行禁止の道（保護区・立入禁止道路）

地図上、薄い黄色で表記された部分が”草原”になります。
草原への立入は禁止します。
濃いオレンジ色で表記された部分（オープン）は、人間の立入使用が目的の場所になります。



地図の上側が磁北になるように作成しています。真北とは約7度傾いています。

競技範囲：おおそ 6km×4km の範囲
最東端：殿城山
最北端：ブランシェたかやまスキー場上
最西端：バス停「大曲」
最南端：「池のくるみ」（踊場湿原）
最低標高：バス停「大曲」 標高 1450m
最高標高：車山山頂 標高 1925m

その他

競技中止の方針

- 最終的にはプロデューサーが現場で判断します。
- 競技中止の場合も参加者個別への通知は行いません。現地でのアナウンスのみとします。電話での個別の問い合わせがあったときは対応します。
- 中止判断の基準：長野県諏訪市・長和地区に気象上の警報が発令されているとき。
- 競技が中止になった場合でも参加費の払い戻しは行いません。

シリーズ戦対象大会

ナビゲーションゲームズ2018のシリーズ戦対象大会となります。本大会の結果に従ってシリーズポイントが得られます。ナビゲーションゲームズ2018は日本オリエンテーリング協会がとりまとめるロゲイニングのシリーズ戦です。

免責事項

- 参加者は良好な健康状態で参加してください。
- 万一事故等が発生した場合、主催者が加入している傷害保険の範囲内及び現場での応急処置以外の責任は負いません。
- 悪天候、自然災害の発生等により大会を中止する場合があります。その際参加費の払い戻しはできません。
- 大会中の映像や写真をラジオ、テレビ、新聞等のメディア及び主催者ホームページ等へ使用する権利は主催者に属します。
- 大会会場における事故や盗難等について、主催者は一切の責任を負いません。

霧ヶ峰ロゲイニング2018概要

日時：2018年7月1日（日）雨天決行・荒天中止
会場：霧ヶ峰スキー場ファミリーゲレンデ（諏訪市強清水）
主催：諏訪市オリエンテーリング協会
長野県オリエンテーリング協会
後援：諏訪市、諏訪市教育委員会、諏訪市体育連盟
協力：日本オリエンテーリング協会
大会プロデューサー・コースプランナー：倉澤勝美
事務局：木村佳司 kimura@orienteering.com
090-3333-0893

参加クラス

チームの部（競技時間4時間）（2-5名）
（JOA ナビゲーションゲームズ2018対象クラス）
家族、混合、混合シニア、
女子、女子シニア、男子、男子シニア
募集人員合計：100チーム
ソロの部（競技時間3時間）
クラス：女子ソロ、男子ソロ
募集人員 合計：100人

